

キリシマ精工株式会社

鹿児島県霧島市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

独自開発の切削加工「カーブカット」工法により、「超精密加工」と「生産工程・材料無駄の削減」等を実現

- 「カーブカット工法」により素材加工が1工程で行えるようになり、品質の安定、短期納期が可能となった
- 難削材であるコバルト等を単軸マシニングセンターにより超精密加工を行う技術は他社にはなく優位性がある
- 霧島市中小零細企業振興会議委員に企業の代表として参加。自治体、産業支援機関も地域の優良企業として認識

企業基本情報

所在地	鹿児島県霧島市国分川原 918-1
電話/FAX	099-573-4311/099-573-4313
URL	www.kirishima-seiko.jp
代表者	代表取締役 西重 保
設立	2006年
資本金	1,000万円
従業員数	38人



会社概要

「カーブカット」工法による難削材（コバルト、ステンレス鋼、モリブデンなど）の超精密金属加工・微細加工を行う。「世界最小0.2mmのサイコロ」や「削り出しによる鳥籠と2羽の鳥の一体物」等の加工サンプルを製作し展示会に積極的に出展。加工品は光通信、医療、衛生関連等の部品に使用されるなど高い加工技術を有している。『鹿児島県霧島市から世界へメイドインキリシマ』を合い言葉に新規顧客を拡大している。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

「カーブカット工法」による加工作業工程の削減に成功

これまでの加工法では「素材→かしめ→ワイヤー加工→平研加工→マシニング加工→仕上げ加工」と多工程で工程ごとの検査も必要であった。そのため、加工に時間が係り、品質にもばらつきが出てしまっていた。これが、独自開発した「カーブカット工法」では、「素材→マシニング加工→仕上げ加工」の1工程のみで行えるようになり品質の安定、短期納期が可能となった。カーブカット工法を社内に囲い込むことで他社の追随が出来ず独自の強み・ブランドとなっている。

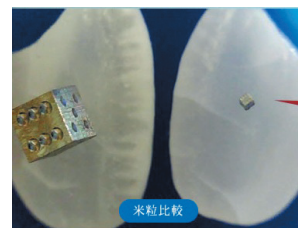


「カーブカット工法」を行うマシニングマシン

カーブカット工法による材料のロス削減、品質の安定、短期納期を実現

難削材である Kovar、42 アロイ、チタンの材料調達から加工までを行う。独自のカーブカット工法により工程が減ることで超精密加工が可能となり、加えて材料のロス削減、品質の安定、短期納期を実現した。加工した部品は光通信や半導体などの精密部品として使用されている。

また、単軸マシニングセンターによる超精密加工は、他社にはない技術であり宇宙・航空部品にも使われている。その技術力の高さを PR するため、世界最小0.2mmのサイコロや削りだしの0.3mm フレームのピラミッド等を作成し展示会などで展示している。



世界最小0.2mmのサイコロ

地元の霧島市中小零細企業振興会議委員に企業の代表として参加し関係者からも地域の優良企業として認識されている

霧島市の霧島市中小零細企業振興会議委員に企業の代表として参加。地元自治体、商工会議所、産業支援機関から地域の優良企業として認識され、展示会の出展も頻繁に声をかけられている。2015年には、高い技術と地元根づいた経営が評価され南日本新聞主催の南日本経済賞を受賞した。業績が上がり事業分野も広がる中で毎年着実に従業員を増やしている。今後は地元専門学校生や大学生の新規雇用を検討している。



南日本経済賞 贈賞式